

よしだ 議会だより



第120号

令和8年1月発行

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
吉田町議会
責任者 議長 増田剛士

令和7年第4回定例会

2P

令和7年第3回臨時会

4P

一般質問 6人が町政を問う

5P

第23回議会報告会

11P

委員会報告

14P

住吉わっぽくらぶ ミニ門松づくり

条例の一部改正、 条例の制定、補正予算 可決

【令和7年第4回吉田町議会定例会】



条例の一部改正9件、条例の制定2件、

補正予算2件の計13議案を審議した。

全ての議案について原案のとおり可決した。

町職員の給与に関する
条例の一部改正

行政手続等における情
報通信技術の利用に関
する条例の一部改正

デジタル化の推進に
よって、役場窓口に行
かなくて済むようにな
ることは子育て世代な
どにとって利便性の向
上が図られる。しかし、
それに対応する気はない
が、もっと子育て世
代の生活の充実を図る
改定をしてほしい。吉
田町独自で手当でも含
めて行う考えはないか。

答 人事院は国家公務員
について民間企業との
官民給与格差の解消を
目的に勧告を出している。
吉田町はそれに従
い本条例の改定を議案
として提出している。

答 利便性向上について
は、提出物を役場に届
けなくて済むとか、支
払いについても自宅か
ら現金以外で支払いが
できるとかを進める予
定である。また、簡素
化効率化については、
現金支払いについて正
しく納付されているか
のチェックにかかる人
件費が効率化されるな
どを考えている。しかし、
条例で、個々の担当課
が進めるデジタル化施
策を迅速に進めるため
のもので、いつから始
めるかは、今は言えない。

答 デジタル化の推進に
よって、すべてがデジ
タル化されるというこ
とは現時点ではない。
現状の手続きは今後も
継続していく、支払い
や手続き手段の幅を広
げていくという考え方
で進めていく。

答 町全体では、布設工
事監督者は5人が7人
に、水道技術管理者は
7人が12人に増える。

問 今回の条件緩和では
10年以上の水道の工事
に関する技術上の実務
経験が5年以上になる
などの変更となつてい
る。今回の条件緩和に
よる町のメリットは。

水道事業の布設工事監
督者などに関する条例
の一部改正

答 今回の条件緩和によ
り、工事の不都合が発生す
る可能性はない。
工事の質は担保され
ると考える。吉田町の
ような小規模事業者の
職員は全ての工事を見
なければならず、水道
全般にかかる経験を短
い期間で習得できるこ
とが国の変更理由とし
て挙げられている。

答 布設工事監督者も水
道技術管理者も町職員
に必要な資格であり、
今回の条件緩和により
有資格者となる人材を
より多くより早く確保
できるようになる。そ
れによって、水道事業
を安定的に持続してい
くことが可能となる。

「こども発達支援センター」 設置条例の制定



こども発達支援事業所の一室

サービスを提供している所で、こども発達支援センターはそれに相談業務を加え、障害児支援の町の中核的な役割を果たすことが大きな違いである。

障害児支援の中核的な役割とは具体的には何か。

今回、こども発達事業所を廃止し、こども発達支援センターを設置するとのことであるが、その違いは。

支援事業所、学校などでそれぞれ別の心理士が相談を受けていたが、今後は支援センターの専任の心理士が一元的に相談を受けることによって成長に適した切れ目のない相談体制ができると考えている。

問 今もしつかりとした支援体制があると思うが、今後底上げしたいという課題はどのようなものか。

答 幼児期からの支援体制や就学後にかけての切れ目のない支援体制構築のために、町にある資源や関係者をつなぎ合わせて、町にあつた支援体制を構築する町の中心となる部署となる。また、地域の支援力の底上げを担う。

乳幼兒等通園支援事業

保育所等に通っていない乳幼児を対象に、一定時間の通園機会を提供することで、子どもの健やかな発達を促すとともに、在宅で子育てを行う家庭の孤立を防ぎ、育児不安や負担の軽減を図ることを目的とした事業。

答 一時預かりは預ける側が就労されている方や病気の方などの利用に限られているが、通園支援事業では預ける側の理由は問わず、6ヶ月から3歳未満の子どもを月の一定時間預けることができる。

問 通園支援事業には常設の一般型と受け入れに余裕がある時に開設する余裕活用型がある。吉田町では余裕活用型から始めると考えるが、現在吉田町では一時預かりも実施している。

令和7年度吉田町一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出にそれぞれ2億2,015万円を追加し、総額168億7,385万円とする

【主な補正】

歳入	国庫支出金 繰入金	4,193 万円 1 億 5,783 万円	(障害者自立支援給付費負担金など) (財政調整基金繰入金)
歳出	民生費 消防費	1 億 7,099 万円 384 万円	(心身障害者自立支援事業費、保育園管理費など) (情報伝達充実・強化事業費など)



自立支援を受けることとためらう方に、町はどうのようなアクションをするのか。

答 上半期の利用者が増えており、下半期の利用者も増えると予想し、見込んでいた事業費では3月までの事業が厳しいと判断したため、12月の補正となつた。

事支援立自者障礙身心業費

吉田町防災メールの登録者数は、まだ登録していない町民への今後の周知は。現在、約1800人の登録中、外国人登録者は一定数いる。町の公式ライン登録者数11000人も含め、さらに多くの町民への周知を継続的に行う。

それぞれ5段階の警戒
レベル発表へとわかり
やすいものとする。

問 どのようなシステム改修となるのか。

町政を問う

一般質問

問

台風15号被災対応と今後の課題は

answer

question

答　この経験を確実に継承し対応力を備える

台風15号は時間雨量110ミリを超す大雨や、風速75メートルもの史上最大クラスの竜巻を発生させ多大な人的・物的被害が発生した。これまでに経験したことのない災害であり、対応状況や今後の課題について質問した。

問　町の体制づくりや被害状況の把握などにおいて苦労したこと、今後の課題は何か。

答　住宅の緊急修理、罹災証明書の交付と被災認定業務、災害廃棄物の収集、被災者への支援制度の情報発信など、経験のない対応が多岐にわたり、被害状況把握や通常業務との両立を含めた体制づくりに大変苦労した。

近隣市町からの派遣、専門家による説明や相談会、NPOやボランティア団体の協力

をいたしました。この経験を確実に継承し対応力を備えておくことが今後の課題である。

問　災害ボランティアセンターと対策本部の役割分担や情報共有などの問題点、課題は何か。

答　センターで集約した情報は速やかに対策本部で共有し、今回の対応に関する課題などの検証を行い、迅速・的確に対応していくこと



大幡地区

答　大雨や台風の予知は一定の備えができるが、竜巻被害は極めて

局所的に発生を予知することは難しく、情報入手が重要である。今後、国・県の検証結果を踏まえ、町の防災計画に反映させていくことを検討する。

問　補聴器の購入補助事業を実施する考えはないか。

答　補聴器の装着は、生活上の不便を軽減し、社会参加の促進や認知機能低下の予防に一定の効果があることから、高齢者を対象とした助成制度を具体的に検討している。

問　難聴についての相談を広報し、認知症や介護予防につなげる考えは。

答　わかりやすいパンフレットなどを作成し広報することを検討している。医療機関などと連携し、相談体制を整え、普及・啓発を行っていく。

問　聴力検査促進のため、特定検診問診票に質問項目を追加できないか。

答　特定検診の基本的な考え方方は、糖尿病などの生活習慣、とりわけ、メタボリックシンドロームの該当者・予備



おお いし いわお 岩 議員



問

初めての夜間地域防災訓練の評価は

答

訓練目的の地域防災力の向上に繋がった

今年の8月に初めて夜間に行われた地域防災訓練やその数日後の台風15号による竜巻被害について質問した。しかし、予定していた自主防災会の在り方やその育成方法については時間の関係で次回に行うこととした。

問 台風15号による竜巻

答 被害への対応で町が得た教訓は。

答 災害時には災害対策本部の迅速かつ的確な対応が重要。今回の災害で得た経験を確実に継承し、さまざまな災害対応ができるよう平時から準備していく。

問 災害ボランティアの二ーズ調査でご家庭を訪ねた時、ボランティア活動を知らない方が多かった。平時からその活動を知らせるチャンスの配布をしてほしい。



ボランティアの皆さん（はあとふる）

答 災害ボランティアの活動を平時において町民にどのように知らせていくかは今後の検討課題の一つである。社会福祉協議会と連携して課題について考えていきたい。

問 8月の夜間の訓練は

答 地域防災訓練として行われた。地域防災訓練は自主防災会などが中

心に共助に重きを、総合防災訓練は町などを中心に公助に重きを置くと理解しているが、町民はどうぞどちらも同じ訓練を行っている。これを見てどうみているか。

答 自主防災会の訓練は基本的に自主防災会に企画してもらっている。訓練の目的に応じた訓練を期待しているが、実践には至っていないのが現状である。

答 6年に比べ7年の町民の参加数は若干増えた。（下表）しかし、学校の建物をよく知り、避難所での活躍が期待される中学生の参加が減った。どう考える。

問 訓練後の自主防災会からの報告書に津波避難タワーの階段や上部が暗いとの記載があつた。どのように対応するのか。

答 自主防災会と実地検分し対策を検討する。



ひらの平野 つもる積議員

令和7年地域防災訓練の町民参加者数(出典:防災課データ)

区分	一般	幼児	小学生	中学生	高校生	要支援	外国人	合計
住吉	2,412	83	178	120	61	28	10	2,892
川尻	1,927	67	142	74	59	54	28	2,351
片岡	1,435	70	125	80	43	7	0	1,760
北区	1,550	143	171	155	45	7	2	2,073
合計	7,324	363	616	429	208	96	40	9,076
令和6年	7,092	370	590	506	236	79	60	8,933
差	232	-7	26	-77	-28	17	-20	143

町政を問う

台風15号の影響で発生した国内最大級の竜巻は、町内にも大きな被害をもたらした。近年のゲリラ豪雨・台風・地震などの自然災害は、土砂災害警戒区域の周辺住民の不安を大いに高めている。そこで現状と対策について質問した。

町内の12カ所が土砂災害警戒区域として、さらにその中の11カ所が土砂災害特別警戒区域として県から指定されている。町ではハザードマップを作成し、区域住民に向けて周知している。



の所有地は、自身で崩壊対策を講じていただきことも、被害を防止

答　国と県が作成した浸水想定区域図を基に、町内の12カ所が土砂災害警戒区域として、さらにその中の11カ所が土砂災害特別警戒区域として県から指定され

害による被害想定は、
土砂災害警戒区域は、
土砂災害防止法に基づ
き、傾斜度が30度以上
の土地について、県が
一律に指定したもので
あり、被害の規模や頻
度については考慮して

県が既に重力式擁壁の設置などの工事を実施しており、定期的な点検も毎年実施している。また「急傾斜地法」では、土地の所有者が急傾斜地の崩壊が生じな

問 県の「森林づくり県 民税」での「森林の力

答　国県への働きかけは、当町だけの問題ではなく、全国的な問題なので、制度的なものを作るということであれば、積極的に要望を上げていく。

するためには、地域の防災計画に定めた土砂災害情報の伝達や避難訓練、ハザードマップの公表・周知など、区域の住民が災害発生のおそれがある際に、自身を守るために一
環境議与税」を利用して対策はできないか。
答 対象が人工林や保安林とされているので、現在の状況では難しい。

問 土砂災害対策の補助制度は検討できないか。

A portrait photograph of Shigeru Ishiba, a Japanese politician. He is a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt and a striped tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

議員
大石 裕之

answer
答

行政の知らせる努力と住民の知る努力

question
問

土砂災害警戒区域の自然災害対策は

問

答

自治会や各団体への加入減少対策は

活動支援や補助金交付で対応する

社会の変化と地域コミュニティにおいて、自治会への加入者や加入率の減少、子ども会やさわやかクラブ、各種団体への会員者数の減少や役員のなり手不足による活動休止など、現状における問題点と対策について質問した。

問 町民の自治会への加入率の現状および外国人の加入率は。

答 7年4月1日時点では、住吉区が62・3%、川尻区が56・4%、片岡区が74・9%、北区が59・1%、町全体では62・5%となっている。外国人も地域コミュニティの一員と考え、外国人の加入率は把握していない。



問 地域コミュニティの現状と対策について、子ども会やさわやかクラブなどの解散情報が

問 地域コミュニティの会員数の減少などの対策は。

答 子ども会については、子どもの数の減少に伴い統廃合が進み、数は減少傾向にある。

問 団体活動の充実のため、補助金の交付や「支え合い応援ブック」を作成し、活動内容や募集のお知らせなどを掲載し、入会への取り組みを行っている。

答 情報発信技術の進展に伴い情報発信手段が多様化している。一人が自分に合った情報収集ができるよう、同報無線、広報よしだ、町ホームページ、町公式ラインなどを通じ情報発信を行っている。

問 「自彊わくわく教室」や「コミカレネットワーク」などのボランティア団体の関係者は高齢化しているが対策は。

答 事業の継続には、会員募集や広報活動が大

切。また同様の団体とつながりをもち、共通の課題解決などを連携してやっていくことに對し支援していく。

問 補助金は自治会が規律をもつて使えるお金で、ここまで使えると町から発信できないか。

答 自治会の主導権はあ

くまで自治会の皆さんによる。自治会への補助金をどのように使うかは皆さんにお任せしている。ただ、こういうことは提出いただいているので、ルールに基づいてやつていただきたいと思つている。



山内ひとし
議員

問 自治会への補助金は加入者人数で行うのが当たり前と思うが。

答 補助金額を算定する



町政を問う

5年9月、6年9月に中学校部活動の地域展開について一般質問した。その後だいぶ時間も経過し、現在の小学6年生が卒業し中学校へ入学するまで3カ月半くらいの時間しかないため、子どもたちの事を考え、現状を質問した。

answer

question
問

部活動地域展開でのクラブ設立条件は

8年2月作成のマニュアルに準ずる

問 吉田中学校は、現在
答 吉田中学校と3小学

問 吉田中学校は、現在14運動部と3文化部の合併させて17の部活動があると聞いている。

答 吉田中学校と3小学校の教員を対象に、指導の希望者や推薦者を募ると共に文化協会、

吉田中学校と3小学校の教員を対象に、指導の希望者や推薦者を募ると共に文化協会、体育協会、スポーツ少年団といった各種団体にも働きかけを行い、指導の推薦者を募った。

答 科学部が本年9月をもって廃部となつたので、16の部活動が行われる予定だが、現時点では8年度中に地域展開可能な部活動は確定していない。

指導の推薦者を募った。結果、16の部活動のうち、12の運動部と1つの文化部において、指導者の候補が挙がっている。今後、中学校と密に連携を取り指導者の確保に努めていく。

ようには決してなか。

答 ように決定したのか。

答 ように決定したのか。
基本的には、クラブ加入者から会費を徴収する「受益者負担」という形の運営を考えている。

答 基本的には、クラブ加入者から会費を徴収する「受益者負担」という形の運営を考えている。

ただし、徴収金額など、詳細については調整中であり、今後、国や県の動向などを踏まえ、経費負担の在り方について方針を固めていく。

ことは可能か。

答 一)とは可能か。

答 ことは可能か。

問 吹奏楽部、美術部の地域展開についてはどうなっているのか。

答 基本的には、地域クラブとして地域展開することを目指す。

答 希望する教員については、「兼職兼業」の申請により教育委員会の許可を得た上で「よし活クラブ」の指導者として可能となる。

作成する。

問 運営マニュアルはいつまでにできるのか。
作成する。

問 運営マニュアルはいつまでにできるのか。
答 8年2月に完成する
予定。

問 現在、平日の指導は
教師が実施していると
聞いた。指導にやる気
を持った教師が休日も

問 地域展開することにおける条件はどのようにになっているのか。



やぎさかえ議長



問 地域展開における指導者
の確保はそれぞれめどが付いたのか。

問 地域展開における経費負担についてはどの

町政を問う

一般質問

answer
答

question
問

花いっぱい活動で安心して暮らせる住環境が整う町

多様な人々が快適に暮らせるまちづくりで花のまち推進事業がある。長きにわたる貢献活動により地域住民に潤いと安らぎを与えてきた団体は、高齢化による会員減少が目立っている。若年層や転入者の参加、町の仕掛けづくりを質問した。

持続可能な緑と花いっぱい地域づくりについて

問 高齢化による会員減
答 6年度は団体活動の継続、新規団体の環境を整えるため、補助金交付要綱を改正。花壇面積要件撤廃・団体人



吉田町花の会
シンボル花壇の花植え

問 小学校花壇の花苗を一部寄付している団体

問

町の玄関口となる役場花壇は、住民や来訪者的心に潤いを与え町のイメージアップにつながるが維持管理は。

問

バイオネストとは・・

木の枝を集めた大きな鳥の巣のような枠に、落葉・剪定枝を入れ微生物の力で分解・堆肥化する自然循環設備。ミニズなどの分解者が落葉を分解しカブトムシなどの生態系が豊かになる。

答

バイオネスト

=生命

ネスト

=巣

少や担い手不足などの課題へのような対策をしているか。

答 6年度は団体活動の継続、新規団体の環境を整えるため、補助金交付要綱を改正。花壇面積要件撤廃・団体人

問 高齢化による会員減
答 6年度は団体活動の継続、新規団体の環境を整えるため、補助金交付要綱を改正。花壇面積要件撤廃・団体人

問 小学校花壇の花苗を一部寄付している団体

問 町の玄関口となる役場花壇は、住民や来訪者的心に潤いを与え町のイメージアップにつながるが維持管理は。

問 バイオネストとは・・

木の枝を集めた大きな鳥の巣のような枠に、落葉・剪定枝を入れ微生物の力で分解・堆肥化する自然循環設備。ミニズなどの分解者が落葉を分解しカブトムシなどの生態系が豊かになる。

答 バイオ (bio) =生命
ネスト (nest) =巣

問 剪定枝の処理コスト削減や新たな資源循環方法への取り組みは。

答 平成28年度から6年度まで草木類堆肥化事業で合計約1045トンのリサイクルを実現した。今年度から、燃料チップ化を行うリサイクル事業を開始した。



バイオネスト

剪定枝の資源循環方法について
問 自然分解型堆肥設備バイオネストを試験的モデル事業として導入する考えは。

問 自然分解型堆肥設備バイオネストを試験的モデル事業として導入する考えは。

答 バイオネストの設置予定はないが、設置への課題やリサイクルの推進、処理コスト縮減のため研究をする。



くすもと ゆみこ
楠元由美子

議員

第23回 議会報告会を開催

開催日

10月27日	住吉会館	10月28日	川尻会館
10月30日	片岡会館	10月31日	北区自彌館

意見交換テーマ

- (1) 夜間の防災訓練について (2) “ぎゅっと”カーよしだについて

上記の日程で開催していただきました。ありがとうございました。報告会の構成は議会から報告後、グループに分かれて質問や換を行いました。81人の方々に参加していただきました。ありがとうございました。報告会の構成は議会から報告後、グループに分かれて質問や換を行いました。議会からは9月定例会で行われた6年度一般会計決算の主な結果とそれに関する質疑内容、続いて常任委員会の活動報告として「避難所運営マニュアル」作成について、「観光振興策について」、「観光後記」、上記意見交換のテーマについて報告しました。その後、各グループで報告に関する質問を受け、次に意見交換を行い、会を進めました。議会は皆さんの貴重なご意見をいただき、委員会での調査や質疑、一般質問に生かします。

アンケート集計結果

1 地区別参加人数

(人)

地区	住吉	川尻	片岡	北区	町外	不明	合計
人数	8	39	11	23	0	0	81

2 年齢別参加人数

(人)

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
人数	2	3	0	11	32	33	81

3 今回の議会報告会はいかがでしたか

(人)

項目	大変良かった	良かった	良くなかった	どちらとも言えない	合計
人数	7	58	5	11	81

4 今回の意見交換テーマについてはいかがでしたか

(人)

項目	よく理解できた	理解できた	理解できなかった	どちらとも言えない	合計
人数	11	56	2	12	81

いたい。

【その他】

- ・都市計画マスター策划において片岡地区の開発は進んでいない。町は考えてほしい。
 - ・大雨の時、支線川からの水が湯日川に流れ浸水の課題がある。
 - ・小山城周辺を気持ち良く利用できるようにしてほしい。
 - ・西の宮公園や湯日川親水公園など、草ぼうぼうで子どもが遊べない、遊具も少ない。
 - ・多目的公園や湯日川親水公園などに人がいない。作ってくれたなら人が集まる場にしてほしい。
 - ・保安林の松林にシラサギが巣を作るので、糞で真っ白になる。綺麗にしてほしい。
 - ・夏が暑くて外で遊べないので、子どもが遊べる屋内施設がほしい。
 - ・7月30日のカムチャツカ半島からの津波警報で避難したが、解除さ

【草刈り】

図書館の湯田川側の
雑草がひどい。何とか
ならないか。



議会報告会風景（片岡）

いなのが実情。引き

- れ帰宅後、晚ご飯を食
べた。解除されないと
いのが実情。引き
続き要望していく。

問
町

- 問 町民税の収納率を上げるために給料からの引き落としの人を増や

問 自力で歩けない 【夜間の防災訓練】

- 自力で歩けない人の
移動をどうするか。家
にいた方が安心ではな

その他

- 問** 防犯カメラ、町で設置している所はあるか。
答 町で設置と自治会で設置がある。

問 [その他] 防犯カメラ、町で設

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <p>問 町民税の収納率を上げるために給料からの引き落としの人を増やすとするが若年者が多いのか。効果がある策か。</p> | <p>答 滞納者に関して、特徴的な年齢層があるとは認識していない。給料引き落とし（特別徴収）が増えれば、会社から確実に町民税として支払われるのでは、町の税収アップにつながることは明白である。今後も特別徴収を増やすべく努力する。</p> | <p>問 シーガーデンシティ構想のインター入り口ターミナルについて、下りバス停側に小規模の売店、トイレなど、何か施設を入れる予定があるのか。</p> | <p>答 上り、下りそれぞれに待合所、トイレを設置する予定である。それに加え、賑わいの空間としての活用も検討していく。</p> |
| <p>問 夜だと炊き出しができないが、どうしたらよいか。</p> | <p>答 夜間での炊き出しのノウハウを夜間訓練で養っていく。町と自主防災会などが連携し、実践的な訓練内容を策定していく。</p> | <p>問 避難タワーは防潮堤ができるたら必要ないのか。</p> | <p>答 避難タワーは必要である。防潮堤は津波を防ぐことを目的としているが、避難タワーへ避難することにより安全の確保につながる。</p> |
| <p>問 夜だと炊き出しができないが、どうしたらよいか。</p> | <p>答 夜間での炊き出しのノウハウを夜間訓練で養っていく。町と自主防災会などが連携し、実践的な訓練内容を策定していく。</p> | <p>問 自力で歩けない人の移動をどうするか。家にいた方が安心ではないか。</p> | <p>答 要配慮者の調査を生委員が行い、避難計画を作成する活動をしている。また、災害に応じた「わたしの避難計画」を作成していただきたい。</p> |

問 【その他】 防犯カメラ、町で設

- （役場管理）役場庁舎
南駐輪場、総合体育館
駐輪場、中央公民館駐輪場、片岡会館駐輪場、吉田町役場玄関、水防センター、展望台
小山城、しらすのまどぐち、バス待合所兼観光案内所に各1台、オアシス館3台、中央児童館2台、吉田町図書館に8台。

（自治会管理）川尻会館前、はあとふる前、オアシス館北西に各1台。



議会報告会風景（北区）

産業建設常任委員会報告

調査事項

観光振興策について

10月30日	町内の観光に関する施設を視察し、事業や取り組みについて説明を受け質疑を行った。
吉田町まちづくり公社	○主たる活動の目的 ・吉田町の魅力づくり ○主な取り組み ・特產品（よしまちべっぴん）の紹介 ・企業サポートセンター（よしサポ）の運営 ・北オアシスパークの多様な利用の誘導

11月12日	調査の感想や意見の報各委員から町内視察	吉田町商工会 ○主な取り組み ・小山城樂市 ・吉田野営 ・月2回発行のPR紙 ・観光部の復活 ・未来創造委員会（吉田公園南側用地の可能性）	吉田町まちづくり公社 ○吉田町まちづくり公社 ・限られた予算・マンパワーの中では思い切った取り組みが期待できない。 ・施設利用者が3万人であることは親しまれている施設である。 ・HPに力を入れている。	現状について ○吉田町まちづくり公社 ・パワーワーの中では思い切った取り組みが期待できない。 ・施設利用者が3万人であることは親しまれている施設である。 ・HPに力を入れている。	告を行った。 町内施設調査のまとめを行った。
--------	---------------------	---	--	---	---------------------------

12月9日	吉田町まちづくり公社 ○吉田町まちづくり公社 ・北オアシスパークは町外の人々が利用しやすい。公社主催のイベントはどうか。 ・よしまちべっぴんの公募の3分の1は町外である。積極的な魅力発信を期待する。	吉田町まちづくり公社 ・吉田町と商工会の協力は不可欠ではないか。 ・PR活動で多くの人が訪れば観光と同じ効果が得られる。 ・小山城周辺の魅力発信を公社が担うのか。	今後の方向性について ○吉田町まちづくり公社 ・景観形成として公社の役割としてはどうか。 ・司令塔となるところが必要と考える。	吉田町まちづくり公社 ・PFE方式に関する野営はPRのチャンス、町を挙げての歓迎キャンペーン企画してはどうか。	吉田町まちづくり公社 ・吉田町と商工会との考え方方に相違がある。未来創造委員会の組織発展を期待する。性化の計画が必要。
-------	--	--	--	--	--



北オアシスパーク

○吉田町商工会 ・PFE方式について	○吉田町商工会 ・吉田野営は面白いいべントとして進化され、今後も楽しみである。	○吉田町商工会 ・町は、町づくりの名にふさわしい施策を指示すべきではないか。 ・HPに観光マップや観光モデルコースなどをアップし情報発信を、コースも都度変更してはどうか。	○吉田町商工会 ・吉田野営は面白いいべントとして進化され、今後も楽しみである。	○吉田町商工会 ・PFE方式に関する野営はPRのチャンス、町を挙げての歓迎キャンペーン企画してはどうか。	吉田町まちづくり公社 ・吉田町と商工会との考え方方に相違がある。未来創造委員会の組織発展を期待する。性化の計画が必要。
-----------------------	--	---	--	---	--

「よしサポ」とは

産業振興を支援する企業サポートセンター

相談日を設け、専門相談員の紹介、商工会や金融機関との連携で幅広く対応

「よしまちべっぴん」とは

町のほこれる特産品
HP上でサイトを運営し、PRを実施
種類一ウナギ加工品・料理、しらす加工品、和菓子、精肉など193品目

總務文教常任委員會報告

調查事項

避難所運営マニュアルの作成について

問 平時における避難

多くの避難者が想定される3小学校および片岡会館を優先して作成する。

答
マニュアルは誰が
関わっても円滑に避
難所運営を行うため
に必要事項をまとめ
るものである。

答 平時からの準備、レイアウト、立ち上げ方、運営方法、留意点などを想定する。
問 避難所運営マニュアル作成で優先する

問 グループで何を決定するのか。

(1) 指定避難所および福祉避難所について
(2) 検討ワーキンググループについて

先に提出してある質問事項について、防災課長からの説明を受け、説明に対する質疑応答を行った。

12月2日 今後の調査方法について協議した。

所運営マニュアルに関する教育・訓練の対象は、その頻度はそれどれくらいを想定しているか。

議会 DX 推進特別委員会報告

調查事項

タブレット等を使用した議会活動について ——森町視察報告——

答 情報共有が早い。
見比べるときに両方

問 タブレット活用の
メリット、デメリッ
トは。

(3) 議会専用のネット環境

6年度の運用に係る費用(年間維持費)は81万1862円である。

モバイルルーター使用料を除き、349万7252円。地方創生臨時交付金を活用

維持費は。

(1)導入の背景・目的
(2)導入プロセス・体制
問 導入に係る費用
(初期費用)と年間

質問項目

(1) 導入の背景・目的
(2) 導入プロセス・体制
導入に係る費用

6年6月に発足してからこれまで12回の委員会を開催し、議会のDXについて議論した。10月14日森町へ視察を行った。



委員長
蒔田昌代

維持費は。

(1)導入の背景・目的
(2)導入プロセス・体制
問 導入に係る費用
(初期費用)と年間

質問項目

6年6月に発足してからこれまで12回の委員会を開催し、議会のDXについて議論した。10月14日森町へ視察を行った。

のデータと一緒に見
れない。

第1回定例会（3月）のご案内

令和8年第1回吉田町議会定例会は3月2日（月）に開会予定です。
傍聴はどなたでもできます。当日役場4階議会事務局にて受付を済まし、
5階傍聴席へご入場ください。お待ちしております。

問い合わせ先

議会事務局 33-2141



傍聴の仕方は
こちらへ

まちの話題



10月4・5日 県営吉田公園
「2025 第15回吉田クラフトフェア」



10月12日 川尻防潮堤・多目的広場
「川尻区ウォークラリー2025」



11月18日 中央小学校
「キットパスアート」



11月23日 川尻海岸清掃
自治会・壮年会・育成会・子ども会
(株)マルハニチロオーシャン共同開催



11月30日 自彊わくわく教室
「自彊館をクリスマスで飾っちゃおう」



12月17日 住吉小学校
音楽発表会

議会広報特別委員会

委員長
委 員

楠元由美子
大石 裕之

副委員長
大石 巍

蒔田 昌代
平野 積

八木 栄
山内 均

※本紙に記載している数値につきましては、一部千円以下を切り捨てして万円単位で表記しています。